



私たちは重症心身障害児者のサポート団体です

<http://nakanodream.main.jp/>

〒164-0012 中野区本町 6-36-5-102 TEL03-6454-1230

重症心身障がい児通所支援事業における新たな支援について

J-Coin 基金事業活動報告

重症心身障がい児（以下重心児）は、新型コロナウイルスの流行下はもちろんのこと、一般的な感染症が流行るシーズンには外出することが厳しくなります。また、体調不良からの回復期などで通所はできないけれど、在宅では活動に参加が可能な状況にある子どももいます。そのため在宅で療育が受けられる環境があることは、重心児にとって望ましいのではないかと思います。

そこで、①オンラインを使った支援と、②家庭への支援の二項目をたてました。オンラインを使った支援では、「オンライン療育」を実施。音楽や詩の朗読の際には画像を出し、聴覚と視覚で楽しめるようにしました。また、一方的な提供にならないよう、参加者とのやりとりを大切にしました。



ほかにも、オンラインの活用では、未就学児の児童発達支援で「オンライン療育見学」を実施し、その後保護者との交流をはかりました。また、おでんくらぶのいつもの療育活動で取り入れている、スイッチを使ったおもちゃ遊びや iPad の活用を知っていただくこと、「スイッチと iPad の講習会」を開催しました。普段のスイッチおもちゃ活動では、子どもたちそれぞれの動きに応じたスイッチを選択し、電池式のおもちゃをつなげて、子どもたちの主体的な動きを促すよう心がけています。講習会後は、家庭への支援の一貫として、スイッチとおもちゃの貸出も実施しました。おもちゃは、音が出るもの、振動するもの、光るもの、風が出るものなど多様なバリエーションを取り揃えました。

今回、新たな支援のひとつとして、主にオンラインを使った試みをしました。コロナ禍など対面での支援が滞った時、オンラインは様々な場面で利用でき大変便利です。特に大人同士の会議や研修会でのメリットは大きいといえるでしょう。ただし、子どもに対しては、日常的な療育の積み重ねの中で職員との関係性ができていることや、個別に応じた活動も設定できるか、が重要だと実感しました。また、保護者の協力が必須なことや機器の環境など、課題も多いと感じました。

オンライン以外では、スイッチとおもちゃの貸し出し、普段おこなっている療育活動の歌やお話などを録音した CD の配布も行いました。

「オンライン療育」に限っては、あくまで対面でできない場合の補助的な支援ですが、通所できない時でもできる活動の基盤が、今回の事業の中で試行、実施できたことに意義を感じています。

*スイッチの一例（指や手のひらで押す、握る、スイッチ）



◆障害児通所支援事業所等における医療的ケア児者の受け入れに関する手引き・研修プログラム◆

厚生労働省の調査研究として、令和2年度「障害児通所支援事業所における安全な医療的ケアの実施体制の構築に関する調査研究」が、みずほリサーチ&テクノロジーズを通じて実施されました。なかのドリームも委員として参加。事業報告とともに、「受け入れに関する手引き」および「研修プログラム」を作成いたしました。プログラムは音声付です。

本事業では、医療的ケアを必要とする利用者の受け入れを検討している障害児通所支援、生活介護およびグループホームの管理者や看護職員、スタッフ向けに、受け入れにあたっての方法や留意点をとりまとめることを目的としました。

障害児通所支援事業所等における医療的ケア児者の受け入れに関する手引き・研修プログラムが完成しました

厚生労働省令和2年度障害児者福祉推進事業として「障害児通所支援事業所等における安全な医療的ケアの実施体制の構築に関する調査研究」を行いました。
本事業は、厚生労働省調査研究等を通じて、医療的ケア児者の受け入れに関する適切な支援体制の構築を目的として、医療的ケア児者の受け入れに関する調査研究を実施し、調査結果に基づき、医療的ケア児者の受け入れに関する手引き・研修プログラムを作成しました。
調査研究の結果、医療的ケア児者の受け入れに関する手引き・研修プログラムを作成しました。この手引き・研修プログラムは、医療的ケア児者の受け入れに関する調査研究の結果に基づき、医療的ケア児者の受け入れに関する手引き・研修プログラムを作成しました。

手引き
医療的ケア児者の受け入れに関する手引き・研修プログラムの概要をまとめた資料です。

研修プログラム（音声付）
医療的ケア児者の受け入れに関する研修プログラムの概要をまとめた資料です。

主な内容

1. 医療的ケア児者の受け入れに関する調査研究の概要
2. 医療的ケア児者の受け入れに関する手引き・研修プログラムの概要
3. 医療的ケア児者の受け入れに関する手引き・研修プログラムの内容
4. 医療的ケア児者の受け入れに関する手引き・研修プログラムの実施方法

お問い合わせ
みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
社会政策コンサルティング部 TEL:03-5261-5404

〈中野区へ 新型コロナウイルスにかかわる 要望書を提出〉

4月30日に、中野区長あて「新型コロナウイルスにかかわる介護・福祉従事者とサービス利用者に対する要望」を提出しました。

内容は、「介護・福祉従事者への新型コロナウイルスワクチン接種対象順位の前倒し」と、「介護・福祉従事者とサービス利用者のPCR検査への補助」です。区ではその後、介護従事者へのワクチン接種順位を上げ、PCR検査の対象範囲を広げました。



◆おでんくらぶ事業報告

*登録者数:30名(児童発達支援6名・放課後デイサービス24名)

7月現在【中野区19名 杉並区8名 渋谷区3名】

*月利用のべ人数と一日の平均利用人数、および利用率

12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
89人	80人	79人	102人	84人	77人	97人
3.9人	3.5人	4.0人	4.6人	3.7人	3.3人	4.4人
78%	70%	80%	92%	74%	66%	88%

児童発達支援管理責任者を、6月から福満が兼任することになりました。おでんくらぶは8/1で7年目になります。みなさまに支えられ、この6年間運営を続けることができました。あらためて感謝申し上げます。(管理者:福満美穂子)

◆訪問介護なべ事業報告



*利用者数:21名(6/30現在)

*職員数:サービス提供責任者2名・ヘルパー14名

緊急事態宣言がまたもや発出されました。訪問介護なべでは、新型コロナウイルス感染防止のために、ワクチンの接種、PCR検査の実施等、細心の注意を払いケアにあたっております。私たちの励みは利用者様の笑顔です。安心して地域で生活できるように支援してまいります。人材不足で利用者様のニーズに充分答えられないのが悩みです。いっしょに活動して下さるヘルパーさんを募集しております!

■非常勤訪問介護職員 募集!

早朝、夕方可能な方! 詳しくはお問い合わせください。

03-6304-8651 メール info@nakanodream.main.jp (担当:佐藤)

◆2021年度通常総会報告◆

5月29日(土)総会を開催し、2020年度事業報告・決算報告(HPに掲載)、2021年度事業計画・活動予算を承認しました。

放課後デイサービス等通所事業は、コロナ禍で約700万円の減収になりましたが、訪問介護事業で増収となり、中野区医療的ケア事業補助金やJ-coin基金助成金等に助けられ、法人全体としては約400万円の黒字になりました。人材不足で十分ニーズに応えられていないのが課題です。コロナ禍が続くので、感染防止に気を付けて事業運営することなど、議論しました。

賛助会費・寄付のお願い

賛助会費 1口3,000円

寄付金 1,000円~

●賛助会費か寄付金かを明記下さい

①【ゆうちょ銀行から振込】

[口座記号・番号]

00190-3-420254

同封のお振込用紙をご利用下さい

②【他金融機関から振込】

ゆうちょ銀行

[店名・店番] 019(ゼロイチキュウ)

[種 目] 当座

[口座番号] 0420254

[口座名] 特定非営利活動法人
なかのドリーム

研修等:

- ・1/13 なかのドリーム虐待防止研修会(内部研修)・なかのドリーム虐待防止委員会開催
- ・1/14 中野区研修「大災害にどう立ち向かうのか」
- ・2/5 訪問介護なべ 東京都介護サービス情報の訪問調査を受ける。
- ・3/12 介護報酬改定、制度改正オンラインセミナー
- ・3/16 中野区サービス提供責任者オンライン研修「介護と医療の連携」
- ・2~3月 訪問介護職員障害者虐待防止研修
- ・2~3月(オンライン研修)東京都医療的ケア児支援研修
- ・3/27 全国重症児者ネットワーク報酬改定研修(おでんくらぶ職員)
- ・他: 随時 痰吸引等実地研修受講

